

がっこう ライフの学校新聞

Vol.6

2024年

冬

ふゆごう 号

冬のみんなの畑



今回は就労支援のパートナー（利用者さん）がメインで作業をしている「みんなの畑」を紹介します。冬の畑では、長ねぎや大根、白菜、アスパラ、ブロッコリー、にんにくを育てています。寒い冬、鍋にぴったりな大根や白菜は、鍋に入るとあっという間に煮えるくらいみずみずしく柔らかいです。収穫の時期には就労支援とデイサービスのパートナーが一緒になり、いきいきと作業をしています。収穫後は萩の風キャンパスの「嫁入りの庭」で定期的に販売*もしているので、ぜひお立ち寄りください。

*ライフの学校のインスタストーリーで発信しています。



にんにく

にんにくはウェルカム！カフェのポロネーゼやランチの日替わりスープなどにも使用しています。



長ねぎ

畑での作業風景。



文：立花ゆりえ、菅野知香

長ねぎの香りと辛味は「アリシン」という成分によるもの。血行を促進して体が温まり、疲労回復にもよいそうです。風邪のひきははじめにも効くかも。

スタッフレシピ！

由布子さんの柚子味噌ふろふき大根



* 柚子味噌：鍋に味噌、みりん、砂糖を入れお湯で味の調整をして煮詰める。最後に柚子の皮をすりおろしたものを入れます。

刻んだ柚子を最後にトッピングすると彩りと香りが最高！「嫁入りの庭」の柚子や「みんなの畑」でとれた大根を使ってつくりました。

- ①大根の皮をむき、2～3センチの厚さに輪切りにし、真ん中に十字に隠し包丁を
- ②水とだしを入れた鍋で①を煮る
- ③煮た大根を器に盛り、柚子味噌をか

けて完成



文：佐々木亜優美、板垣浩太

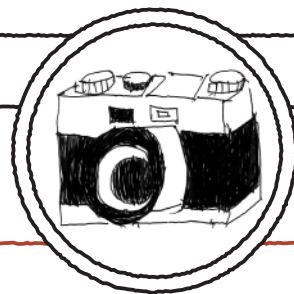
メダカたちの日々



萩の風キャンパスではいたるところに水槽があります。とある日、お風呂に向かうパートナーが一人。エレベーターを降り、なぜかお風呂には向かわず水槽の前に。そこには悠々と泳いでいるメダカたち。「元気だな」と一言語りかけ、何事もなかったように踵を返しお風呂へ向かうのでした。こうして話しかけるのが日課になっているようです。



文：片山晴香



山口すみさんの一枚

金婚式の祝いを家族みんなで



金婚式の祝いの席。前列左から、長男、夫の榮五郎さん、すみさん、次男夫婦、後列左から孫3人、長男妻。

小国町で過ごした
日々の記憶

旅館を営んでいた山口すみさん。
「ほらおめえにあげっから」と自分よりも
ほかの人を優先する姿をよく見かけます。
その背景にある人生、想いとは？

大家族ものがたり

4男3女の7人きょうだいの2番目に生まれたすみさん。「きょうだいは7人でおれは長女。1番上が清一に、2番目が自衛隊さいった実で。3番目が五平か。4番目が亡くなった三郎（本当は昭平さん）で。女のきょうだいがおれに、賢子に幸子だな。仲良かったこて。喧嘩なぞしねえな」と語ります。「賢子も幸子も学校。おれは働いたんだ」と長女として働きに出たそうです。

卒業後は旅館で働く

学校を卒業後、山形県内にある旅館に働きに出たすみさん。「女中の親方だった」そうです。当時を振り返って「そりゃ大変だったな。16か17のときから働いてたからな。汽車がぼーって通っから。みなさ部屋に行って毎日のように『おは

ようございます。起きてください』って言いに行くのが大変だったな」と話します。旅館は蒸気機関車が走る小国駅（現・JR米坂線）の目の前。5時台の始発に乗る宿泊客を起こしに行くのが大変だったようです。

榮五郎さんと結婚

旅館で働いていたときに夫である榮五郎さんと出会いました。旅館の「じんちゃん」と呼んでいた方から結婚を勧められたそうです。結婚当初は旅館に暮らしていたそう。こどもが産まれると「子守りして、背中におぶってお月様をみて。流れ星がぱっぱばーって飛んだとき『幸せになるように』と言って」と働きながら子育てしたことを教えてくださいました。夫婦の仲について伺うと「喧嘩なぞしねえな、おれが優しいかな」と語るときの表情が素敵でした。

山口すみさん

1927年12月24日生まれ。今年で96歳。山形県西置賜郡小国町育ち。19歳のときに夫の榮五郎さんと結婚。2人の子宝に恵まれる。実家の「おもたか屋旅館」には16～17歳の頃から働き始め、旅館での仕事と子育てに一生懸命だった日々を過ごす。

※山口すみさんのライフストーリーより抜粋。
全編は「ライフの学校図書館」で読むことができます。



聞き手：勝美優
文：高橋香織



このまち インタビュー Vol.6

まち だ ゆき お

町田幸雄さん

ゆとりの医科歯科クリニック

ゆとりの医科歯科クリニックを開業したきっかけは何ですか？

コロナ禍で経営が厳しくて、岩沼市でやっていた「岩沼クリニック」を閉じたところだったんです。でも、娘が子育てをしながら歯科医をやっていたので、手助けできないかなと思い、一緒にクリニックを立ち上げました。場所が新田なのは、歯医者が少ないことと、娘の家とわたしの家の中間だからなんだよね。

ライフの学校とどのように連携していきたいですか？

わたしが特別養護老人ホーム萩の風（現在のライフの学校）の嘱託医時代にやっていたことは、とにかく健康維持です。加齢による変化は出てきますが、できるだけ穏やかに看取ることが目標。わたしはね、必要な薬以外は飲まない方がいいと思ってらんですよ。薬以外のことで元気になってもらえるといい。居宅介護支援でも診察していた経験から、患者は待っていても来ないので自分たちから出かけていきたいなと考えています。いま必要とされている医療に積極的に取り組みたいですね。

このまちのお気に入りの場所はどこですか？

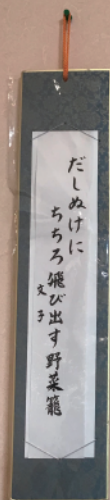
20年前に若林区六郷に「若林クリニック」をつくって、初代所長を5年間やっていました。六郷や沖野の患者さんが結構来てたんだよね。在宅医療と診療、婦人科と内科をやっていて、広く患者さんを診てたからね。そのあと「岩沼クリニック」を開業して、そのときに嘱託医として毎週通っていたので、具体的な場所はないけれど、やっぱりこの地域には思い入れがありますね。

1947年生まれ。埼玉県出身、東北大学医学部卒。いくつかのクリニックを経て、2023年宮城野区新田に「ゆとりの医科歯科クリニック」を開業。専門は、内科・婦人科。特別養護老人ホーム萩の風（現在のライフの学校）に嘱託医として11年勤務。健康の秘訣は運動と睡眠。



聞き手・文：
岩槻幸展、
佐藤美月

小さな美術館



「高木さんの俳句」

だしぬけに ちろろ飛び出す 野菜籠

これは「ここに飾って、にぎやかにしてほしくて」とご自宅から持ってきて、萩の風キャンパスに飾ってある俳句です。

俳句とは、5・7・5の17音と季語でつくる定型詩です。この俳句の「ちろろ」とはこおろぎのことで、秋の季語。野菜籠から飛び出てきたこおろぎを見て、秋になったことを急に実感した様子が伺えます。

「父親が俳句好きでね、いつのまにかはじめてたの。俳句の会に入って10年以上習ってて、賞も取ったことがあるの。家にもたくさんさんの作品があるんだよ」とのこと。俳句の会の冊子をめぐりながら俳句の話をする高木さんは、とてもいきいきとされています。

文：福原舞



ライフの学校とは



ふくし しせつ ち いき
福祉施設を地域にひらき、さまざまな
ひとが集う「学びあいの拠点」にしてい
る社会福祉法人です。現在は、萩の風・
霞目・上飯田・幸町・新田の全部で5つ
のキャンパスと畑があり、高齢者福祉、
障害者福祉を中心にさまざまなプロジェ
クトを行っています。



社会福祉法人
ライフの学校
<https://gakkou.life>

萩の風キャンパス 仙台市若林区上飯田字天神1-1

【利用案内】※どなたでも利用できます

嫁入りの庭

入居するパートナーと一緒にかつての嫁入り道具のようにやつ
てきた家具や植木のある庭。ベンチには電源も。出入り自由。

◎24時間365日(年中無休)

ライフの図書館

福祉や地域に関する図書が並び、自習室としても利用できます。

◎時間＝9:00-18:00(金曜は15:30まで)

駄菓子屋「かみふうせん」

看板猫のふうたもお待ちしています。

◎時間＝10:00-16:00(年中無休)

こども食堂「おかえり」

嫁入りの庭でとれた野菜も使用した料理は好評!

◎日時＝第3土曜、12:00-14:00

そのほかのイベント ウェブサイトでご確認ください。

霞目キャンパス 仙台市若林区霞目2-14-26

ウェルカム! カフェ 日替わりはインスタストーリーをチェック!

◎日時＝火～土曜(祝日営業、日・月曜休み)、10:00-16:30

ライフの学校



ウェルカム! カフェ



編集後記

お風呂に行く途中、メダカを眺めるパートナー。何度も撮影チャンス
があったにもかかわらず、カメラを向けるのに手間取り、その間に颯爽
とお風呂に向かってしまい、慌てて追いかける、を何度も繰り返して
なかなか写真が撮れません(汗)。そうしたら、デイサービスのスタッフが
がファインプレー!! 無事に写真を撮ってくれました。片山

おしらせ

新田キャンパス「ゆとりの医科歯科クリニック」開設

10月、宮城野区新田に医科歯科クリニック(婦人科・内科・歯科)
を開設しました。院長は、長年、わたしたちの法人の嘱託医だっ
た町田幸雄医師。口腔の疾患や機能低下は全身に影響すること
があります。一人ひとりに寄り添い、口腔と全身の健康管理がで
きる、かかりつけクリニックを目指しています。どんな些細なこと
でもお気軽に受診し、ご相談ください。



ゆとりの医科歯科クリニックウェブサイト

<https://www.yutorinoikashika.com>

東北高等学校で教養講座を担当しました。

11月、仙台にある南光学園東北高等学校にて、作業療法士/コ
ミュニティマネージャーの中島薫里が「教養としての福祉、福祉は
自分ごと」という授業を行いました。日本財団の助成を受けて
開催した中高生向けの「福祉教育」プログラムです。「福祉」の
語源を紐解き、自分の老後を考えるグループワークを実施。文教
コース1年生に「思い描いた老後を実現する地域や社会は、自分た
ちでつくる」というメッセージを届けました。



ライフストーリーを聞かせてくれた山口すみさんは、山形訛りが強く、
聞き取りがなかなか大変でした。夫婦喧嘩をしたことはなく、「おれが
優しいからな」と話されたときの表情から素敵な夫婦だったことを感
じました。すみさんの担当になってからいろいろとお話は伺っていま
したが、今回また新たな一面を知ることができました。勝

ライフの学校新聞 Vol.6 2024年冬号
発行日:2024年1月18日
発行:社会福祉法人ライフの学校
宮城県仙台市若林区上飯田字天神1-1
022-289-8555

発行人:田中伸弥[ライフの学校]
編集:堀内直美+守安里沙+立花ゆりえ+菅野知香+片山晴香+高橋香織+佐々木亜優美+板垣浩太+勝美優+福原舞+佐藤美月+
岩槻幸展[ライフの学校]、川村庸子、佐藤恵美
デザイン:阿部航太
イラストレーション:阿部貴志+菅浪あけみ+安川皓+澤野心彩+渡辺果南+佐藤美月